

# 京都教区時報

第136号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東人 Tel 761-9095

京都教区「平和への歩み」報告と感想



## みんなであるこう ウォーカソン

第10回京都 11月3日(木) 第6回奈良 9月23日(金)

みんなであるこう ウォーカソン

# 生きるために、手をかして下さい

◆スリランカの職業訓練養成費

◆スーダンの「みどり一本運動」

1988年

奈良

9月23日(金)

奈良教会

京都

11月3日(木)

河原町教会

テーマを「生きるために、手をかして下さい」とした。

生きるため、今、パンが必要なのは事実です。でもパンを与えるだけでは何時までもたつても生活は改善されない。パンの糧をうるために必要な働きや手段、方法を提供し、自立していける様助けるといふ事が大切ではないかと思う。

## 1、スリランカ 女子職業訓練養成計画への援助

今スリランカは特にシンハリ語を話す人々とタミル語を話す人々との間の民族闘争が1983年以後急激に悪化し、政治、社会、経済的な混乱に加え、宗教的な争いも加わり深刻な情況にあり、一般の人々、特に若い人々の間に絶望感がただよいはじめている様です。87年インドの介入により、シンハリ・タミル間の和平協定が結ばれ、解決への第一歩を踏み出したとはいえ、前途は多難に満ちている。この様な時代にあつて、まず青年に自信と活力を与えるために種々の努力が要請される中でセントジョゼフカレッジ（ワナシロゲ校長）では女子のため、2年制の裁縫訓練科を設け、手に技術を持ち、自信と自立の場をもたせ、生活を改善させていきたいと思つている。確かに教育や訓練は、今すぐにパンを与



る事は出来ないにしても、すぐになるパンよりも、そのパンを産み出す「手」を与える事の方がもっと大切なのではないかと思うし、彼等の中に生れる生きる希望と自信の支えとなることこそ本當の援助となるのではないかと思う。

尚スリランカの現状については例えば「もつと知りたいスリランカ」(弘文堂)等を読んでいただきたい。

## 2、みどり一本運動

これは、犬養道子さんの提唱で1981年から、アジア・アフリカにおける難民援助計画の一つとしてはじめられた植林運動である。第一期はパキスタンのアフガン難民対策としてはじめられ、一応その役目を果たしたとして、前年度からスーダンに移つていく。アフリカの飢餓難民については、いろいろの写真集や本が出ているので、ここでは触れない。

ただスーダンもパキスタンもそれ自身貧しく飢えていながら更に飢えている難民達を受け入れる事によって、ますます貧しくなる。飢えた難民と家畜達は草木の根までそれこそ根こそぎ食べつくす。そのあとは不毛の土地と何も与えてくれぬ砂漠が残る。

「水・土・緑」「森林の伐採と気候の変化と飢え」「開発と戦争と飢え」などの因果関係については、いとまが

ない程多くの本が出版されているが、その様な本を勉強して、自分の生活を見直してみる必要がある。「割りばし」論争や「使い捨て」問題、公害の問題等、身近かな日常生活の問題と、実は遠いアフリカの飢えと砂漠化とに深い関連がある。そのため多くの本の中で例えば犬養道子著「人間の大地」を一度は読み勉強会をしてみてはどうだろうか。

さて「みどり一本運動」についてはこの人間の大地と、岩波ブックレット(No.112)「飢餓と難民」援助とは何か」に書かれているので御存知の方もおられよう。

木(だから森林)が人間の生命なのだから、その「生命のもと」を私達の手で作つていかねばならない。アフリカのある農村の話。村の長老が村の周辺に木を植え、育つ数年間、どんな事があつても木を切らせなかった。そのためその地は今、自分達だけで食べていける様になつたという。

150円で一本の木が育ち、これで5人家族約一年分の薪がとれる。これは100円のスポンサーと30円のスポンサー1人見つければ一家族救える計算になるのです。

コーヒー3杯分、昼食弁当2人分位を犠牲にしたいだけば……。

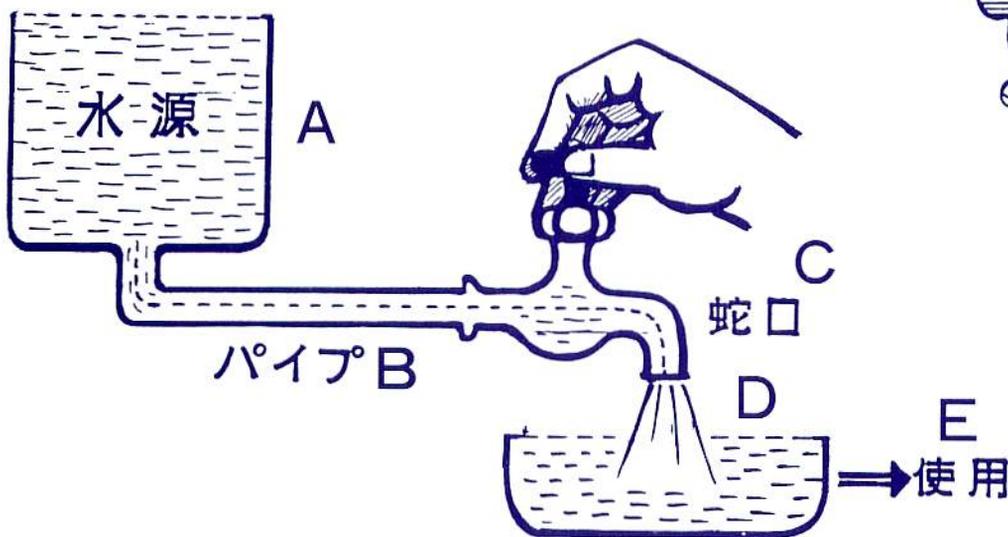
パンを下さい。でも生命を生かすその手を下さい。支えを下さい。どうぞよろしくお願いします。

教区優先課題—情報伝達のパイプのつまり—

# パイプのつまり?

## どこがつまっているのかな

ヴィジョンの見直し、ナイスの具体化の中から出て来た重要な課題に「パイプのつまり」(情報交換や意思の疎通、対話のつまり……)があります。この打開策を、司牧評で話し合いました。そこで、でて来たのは、①流れ、②養成、③受け入れ体制の整備と言う事でした。今の流れについて考えてみましょう。



上の図は情報の流れを表しています

- A 伝えたいメッセージがあります。
- B 伝えるべきだと判断して、どの様な手段や方法を使うかを決めて流します。
- C 水は蛇口に流れます。蛇口を開くか開かないかは受ける側の決意と判断に左右されます。
- D 関心と興味、必要性に応じて水おけに水をためたり、流しっぱなしにしたりします。
- E 水おけの水を利用したりします。

さていろんな情報が流されるわけですが、ある情報について流そうとする時、どこに「つまり」があるのでしょうか。水源?パイプ?蛇口?受け皿は具体的になにを誰をさすのでしょうか。何故働かないのでしょうか。どうしたらうまく通じる様になるのでしょうか。それをどうか反省して話し合ってみてください。

尚この外に、情報の交換の基礎となる共同体自身の交わり、分かち合い、そして情報の受け皿作りを考える必要がありますし、又観点を「送り手、受け手」として見る事により今回の流れについての問いかけを補充する必要があるかもしれません。できれば次回に示してみたいと思います。

'88年 京都教区平和への歩み 報告と感想

平和への歩みは

わたしの第一歩から



今年で5回目となった「平和への歩み」も、昨年からは各フロックで行われるようになった。また、「平和」という言葉は人によってさまざまに受けとめられていると思います。そんな中で、私達が目指す「平和」とは何なのでしょう。単なる理想や願望だけのものなのでしょうか。「平和への歩み」を通し私達は、もつと「平和」について学ばなければならないと思います。残された「平和への歩み」学習会にみなさん参加しましょう。

聖書に基づいた正義と平和について

奈良教会

吉井 淳朗

正義と平和、耳慣れたそして心に心地よくひびく言葉である。しかし私はこの言葉のもつ意味について、今

奈良：平和への歩み  
6月18・19日  
聖書と正義と平和  
講師 雨宮慧師

度ほど掘り下げて考えさせられたことはなかった。

6月18・19日の両日にわたって聖書に基づいた正義と平和につい

ての、雨宮神父さまの琴線にひびくあの語り口を今、思い起こしている。

それは、旧約聖書のアモス書から始まった。紀元前8世紀、アベラムⅡ世の頃の北イスラエルは繁栄を謳歌しており、人びとは形だけの祭儀に余念がなく、種々の不正によって、社会は病んでおり、底辺で踏み台にされている人の苦しみを理解しようとはしなかった。アモスはこれを「ヨゼフの骨折

に気付かない」と書き表している。これがエジプトから神によって導き出された人びとのつくり上げた社会なのか？

イスラエルよ、正義を洪水のように、めぐみのわざを大河のように流れさせよ！  
イスラエルとは神の解放のわざにあずかった者の意であり、我々もまたイスラエルである。

講話はこのあとレビに移り、エゼキエル、マタイ、マルコ、ルカ、そして創世記にわたった。

わたしたちはみな一緒に神のものでもべであり、その中に支配、被支配の関係があってはならない。マタイ18章他に書かれている「仲間」という言葉は、ギリシア語では一

緒にしもべの意味である。わたしたちが神によってどのような者であるかを真に理解することがすべての出発点である。

聖書にある「平和(シャローム)」は、満ち満ちている、終わりまで達している、欠けていないの意であり、単に戦争がない、争いがなとかのことはではない。平和の挨拶の「主の平和」は個人の安心立命のことではなく、共同体的な、個人を越えた社会的なものである。イスラエルの選びは、エリートを選びではなく、神のいつくしみを受けたものとしての選びである。宣教体験の中で今まで解らなかつたものがわかるようになる。あなたがたの光を輝かせよとあるよ

うに、神が我々を通してお働きになる。その為に我々が選ばれたのではないのか……。

### 石けん作りを通して

#### 改めて問い直したい!

衣笠教会

天春 寿子



京都・南部：平和への歩み  
6月26日

### 共に生きよう生命と水

担当 水元文子

互いに普通の人間らしい生き方を大切にしながら、今自分に出ることを身近な生活の中で始めようという事を意識しているのかな。平和への歩みは私の一歩からというところらしい。

地域の人々を含め誰でも入れるグループである事を大事にしているとの事でとても納得。そうです。平和運動は誰でも出来る事の筈なのです。学習会は数名の方達

6月26日の  
鎌みその会担  
当の平和への  
歩みの学習会  
に参加しまし  
た。それにし  
てもこの名称、  
普通の人がお  
川の循環、工場排水による水汚染  
これら仕組を分かり易いスライ  
ドで丁寧に説明してもらい私の頭  
の中へもすんなり入って来ました。  
又鴨川の護岸工事、琵琶湖の汚染  
について市当局と折衝を重ねて共  
に考え、良い案を出そうと息の長  
い活動を続けている市民グルー

の役割分担でいかにも手作りの学  
習会といった雰囲気の中で、スラ  
イドによる水の汚染、石けん作り  
の紹介、質疑応答の順に進められ  
て行きました。合成洗剤中の界面  
活性剤は水の中で百日以上たつて  
も分解されず汚れをとり込み続け  
川や湖、海の複合汚染のもとにな  
ってゆくこと。自然破壊を招くだ  
けでなく皮膚障害、胎児への影響  
発ガン、内臓障害を起こすこと。

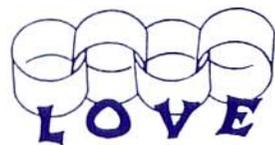
の存在、生命の湖を救う為に海外  
のプレーンを招いて開かれる琵琶  
湖国際会議の紹介もありました。

安くて手軽に使用できる合成洗  
剤をやめるとして、無害のプリン  
石けんはと期待して、早速おみや  
げにもらったものを使ってみまし  
た。毒性のある蛍光漂白剤入りの  
合成洗剤ではコマーシャル通り、  
真っ白に仕上がったのに、何となく  
黄色っぽく、乾くと何やら僅か  
すが変な匂いも残ります。粉石けん  
はどうかかと尋ねた所、お天気  
の良い日に干さないで、匂いが残  
りますよとの事。プリン石けんを  
作る迄もなく粉石けん一つ使うに  
も手間暇惜しんではは実現しな  
いのだな。ああこのあたりで、有  
害と分かっていても妥協してしまう  
のだなと分かりました。

すべての人の尊厳が守られる人  
間らしい生活を大切に作る世界へ  
の変革、神の国の実現の為に働く  
という言葉はとても格好の良い響  
きを持っていますが、いざ実行と  
なると、石けんを使うというささ  
やかな事でも、使い捨て文化、便  
利志向、経済優先の社会機構の中  
で立ち止まり、あえて面倒くさい  
ことを積極的に引き受けるという  
一歩が待っているのです。

この地上のすべての資源は有限  
であり、保護し保存し次代へ引き  
継いでゆくことは、私達一人一人  
の責任である事を自覚し始めた教  
会です。そしてこの世界をすべて  
の人の尊厳が守られる世界へと変  
革して行く仕事にはすべての人が  
招かれているので、地道な拡がり  
を持った連帯のうちに運動を続け  
ている市民グループが沢山あるの  
です。人間らしい生活を大切にし  
ようとすると「石けん作りを通  
して考えてみよう。」という発題の  
通り、石けん作りに留まらず、生  
活の隅々に至る迄見直す目が培わ  
れ生きる姿勢が変えられてゆくの  
だなどと思えました。私には関係は  
ないと言える社会の罪など何一つ  
ありはしないのです。私自身は日  
々の生活の中で、一体どのような  
平和への貢献をしているのだろう。  
いつも思い、又この日も改めて問  
い直した一日でした。





開かれた教会づくりー社会問題と取り組む種々のグループ紹介ー

## 津聖心カトリック教会

### 正義と平和委員会

#### 市民の方々と共にする第三世界シヨップ運動

「教会のこんな近くに店開きしていたのね」と言いながら、初めて私たちが三重ワールド・バザールを訪れたのは昨年9月の第1日曜日でした。地方新聞で紹介されていたその店、ガレージにガラス戸を取りつけただけの簡単なもので来客が4、5人も入るともういっぱいになります。左右の棚には小さいものは指輪やブレスレットから、大きいものは手織りのカーペットやベッドカバーまで、苦心して陳列されています。東南アジアの製品には独得のデザインや色彩のものがあって思わず手にとつて眺めたくくなります。また、藍染めや紺の布地、芦の葉で編んだ籠など、古い日本の文化に再会したような気がするものもあります。

昨年4月に開店したこの店は、海外旅行を経験した三重県の学校の先生方7名が、訪れた途上国の大勢の子供たちが小学校すら行けないのを見て、何とかしたいと考えて始められたものです。ヨーロッパに始まった第三世界シヨップの運動。これは途上国の製品を力づくで安く買いたたくのではなく、正当な価格で買いたいと生産者に働く意欲を持ってもらおうとする市民運動です。三重ワールドバザールはこの第三世界シヨップの品物と、独自に開拓したルートから入手した品を販売しています。売買によって得た販売手数料を、すべて途上国への教育援助に当てています。ですから店舗経費も人件費もありません。もちろん、広告宣伝費もありませんからたまに新聞記事やテレビのニュースにでることだけがP・Rです。そんな小さな店……。

私たちがワールドバザールを訪れた丁度その日、先生方は援助を一番必要としている所に確実に援助物資が届く方法をカトリック教会に問い合わせてみよう話し合っておられたところだったのです。その偶然の一致もうれしかったのですが、未信者の市民の方々のカトリックへの信頼をもっとうれしく感じたのでした。そしてアジアやアフリカー途上国へ、共通の思いを持っていた私達が、教会の有志で何とかワールドバザールの手伝いがしたいと思つたのは自然のなりゆきでした。それまで人手がなくて第1土、日曜しか開店できない状態でしたが昨年11月から、第2第4の土、日曜日の店番を教会の有志で引き受けています。第3の土・日曜日は「三重せっけんを広める会」の方が協力を申し出て下さつて、会では毎週土、日開店できるようになりました。来客のほとんどない日も、たくさん来て下さる日もあります。売れな

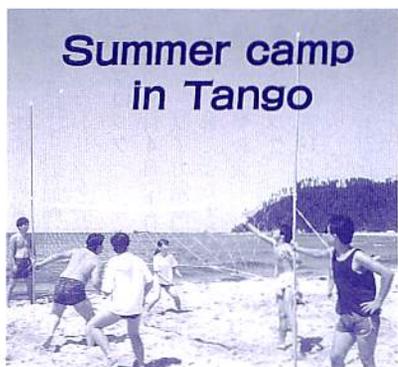
くても来店くださる方々と第三世界のことや教会のことなど話し、理解や信頼が広がっていくのも喜びのひとつです。

タイの東北地方、カンボジア国境に近い貧しい村、ノンカナ村。そこでスベール会のシスター方が現地の娘さんに洋裁を教えたり、医療活動、教育活動をしておられます。昨年末、ワールドバザールの先生方は、バザールの利益金で学用品や医薬品、ミシン等をせおつて、そのシスター方を応援に行つて下さいました。戦火・砲弾と目と鼻の距離で献身されるシスターの方の姿に先生方は心を打たれたといわれます。そして私たちはその先生方の姿に感動します。安易に金品を与える援助でなく、その国の人たちが自身が、自分の国の政治の不正義、不平等を自らただし、道ではあつても教育援助に徹したいと言われる方針に私たちも共鳴し、共に力を捧げさせていたたいています。

今年の三重の平和旬間の行事として、前記のタイ訪問の話しを、バザールの代表者、徳井賢氏にしたいいただきました。

「一人では何もできない。一人増えれば三人、四人分の力となる」と話されたのが心に残りました。

文責 三崎久恵



# あんてな (((((( )))

梅雨明けの遅かった今年の夏。でも、サマー・キャンプ当日、丹後の空は日本晴れ。一日目は、オリエンテーションとフリータイム(それは自由な時間だ)。二日目午前中、少し冷たい海で泳いだあと、おにぎりやフライドチキンで腹ごしらえをして、ビーチバレーボール大会の開始。8チームがトーナメントで、砂にまみれて、風向きを計算しながらの試合。数時間後、赤色人種が数名ヒリヒリする肌を魔の手から守るために走り廻ることになる。夜はバーベキュー、キャンプファイヤーを囲んで、ゲームや歌で楽しんだ後、花火につられて海岸へ。二日目の夜は前夜ビデオで映画を3本見た人も、疲れ

## ぼくたち流す人



## ↓私、食べる人



てその日のうちに眠ってしまった。三日目、予定表にあるラジオ体操はどこえやら。それでも主日のフォークミサは元氣一杯。ミサのあとは、お昼ごはんの準備。メインは流しそうめん。青竹を割って、つないで水とそうめんを流す。きゅうりや漬物まで流れてくる。とにかく、遊んで食べて楽しさ200%のサマーキャンプ。最後のまとめ、といってもビーチバレーボール大会の表彰式。「なんだ、結局遊んだだけじゃない」なんて言わないで下さい。大阪、奈良、京都南部の参加者を含めて30数名。元氣いっぱい青年が一つになって、そこにイエズスがおられたら、明日の教会は明るい！新しくなった網野教会をあつめた私たちは、楽しい思い出をそれぞれ持って帰路についた。

文責(中口)

# ((( ))) あんてな

## グループ・プロジェクト

先のもぐらのつぶやきと同じ事なんですけれど、個人のエゴ(利己主義)は反省し、改めようと努力しても、グループのエゴとなると、とたんにどうもおかしくなる。このグループが大きくなればなる程、互いに足を引っ張りあって動けなくなる。ちょっと例は悪いかもしれないが、畑を耕やすのに昔は、手で鍬を持ち、手で肥料や水をやって育てました。土や一つ一つの種へのやさしい思いがありました。でも今は違います。大きなブルドーザーで、あとはみな機械で大きっぱにやります。確かに収穫は一時的には多いかもしれませんが、ただどその結果……。

いや申し上げたいのはそんな事でなく、大企業が小企業をつぶしていく。先進国が後進国を開発の美名のもとに倒していく。そこには大企業のエゴや大国のエゴが騒がれるわけです。だけどその先端で働く人は滅私奉公、命をかけて一生懸命他人のために働くのです。個人個人はとも良い人だけど、それが大きなグループになると、まるで大型戦車の様に土地を踏みにじっていくのです。

## ちよつとあなたも

## ちよつとわたしも (12)

教会だって、同じ事が言えるかもしれない。信徒一人一人はとも献身的で、自己犠牲にとみ、すばらしい人々なんだけれど、それがグループとなるとどうもうまくいかない。教会、聖なる教会、不謬の教会、そういった教会の絶対性を大切にすあまり、教会も神の国、実現の手段であり伝え手だと言う事を忘れてしまう。教会への忠誠心が時々教会エゴに陥れる。

又、ある一つのとても良い事をはじめようとしても、ああでもないこうでもないとなりをたたくわけです。無難にこなすためには大きなものにまかれ、又それでまわりのみこんでいくのです。

何も私は教会の組織を否定するわけでも、美しい聖堂や建物を否定するわけでもないのです。それはそれとしてとても大切なんです……。

教会は兄弟の集いと言いますが、それはどの範囲までですか。自分の小教区の人々、それとも……。教会は家族的でなければならぬと言いますが、反面家族エゴのおそろしさもあるのでは……。これをのりこえるのにはどうすればよいのでしょうか……。

# お知らせ

## 教区スケジュール

9月

5日 司祭評議会

11日 大和郡山教会バザー

聖ビンセンシオニア・パウ

ロ記念ミサ(西陣)

14日 信愛幼稚園創立記念日

15日 スカウトサンデー全体集

会(滋賀)

23日 信愛まつり(信愛幼稚園)

23~25日 SVP全国大会

24~25日 聖母中学校文化祭

### 「平和への歩み」講演会

京都南部ブロック

日時 9月25日PM1時~4時

テーマ 映画と講演

「炎ゆるる街」部落問題について考える

場所 カトリック会館6F

三重ブロック

日時 9月4日(主日のミサ後)

テーマ 原子力発電問題くらしを

考えなおす会

奈良ブロック

日時 9月18日AM10時

テーマ ビデオ「宗教と人間解放の問題」

### ▼祈りとミサの夕べ

#### 京都祈りの日のご案内

一、聖時間とミサ(8時より)で過す祈りの夕べです。7時過ぎでもご自由にお入り下さい。

日時 9月8日(木)PM7時~9時

対象 男性信徒

参加費 無料

二、個人指導(希望者のみ)を受け一日静修する祈りの日です。

日時 9月9日(金)PM9時30分受付

対象 男女信徒

参加費 500円(お弁当をご持参下さい)

場所 ウィチタ聖ヨゼフ修道会本部修道院

院 祈りの家 ヨゼフホール(両日とも)

指導 リチャード師(御受難会(両日とも))

### ▼召命黙想会のご案内

#### 「祈りと働き」

日時 9月23日~25日

場所 善きサマリア人会奈良修道院

指導 村上透磨師(京都教区)

対象 未婚の女子信徒

持参品 聖書、エプロン、洗面用具

会費 4,000円

▼申し込み9月15日(木)までハガキ

又は☎で左記まで

〒150 東京都渋谷区代々木5-16-2

善きサマリア人会東京修道院

☎03(485)0061



婦天

堀江春治様(91歳)

7月20日(松阪)

Sr コーデスメリー城江ウィチタ聖ヨゼフ修女

ヘレン・カーティ様(50歳)

7月23日(シドニー)

カーティ師(マリリスト会)令姉

### わたしたちのNICE

定価500円(送料別)

申込方法 住所・氏名・電話番号・冊数を記入の上ハガキにてお申し込下さい。

申込先

〒604 京都市中京区壬生仙念寺23 西院カトリック教会内

「わたしたちのNICE」編集委員会

支払方法 郵便振替(振込) 京都0-5970

▶できるだけグループ教会でまとめてお申し込み下さい。問い合わせは柳本師まで。

### 葬られた日本史 朝鮮人強制連行を語る

—88年1月15・16日 吉田清治さん証言会の記録— 定価 200円 B5版36ページ

吉田清治さん証言会実行委員会発行

朝鮮人強制連行のただひとりの証言者である吉田清治さんの貴重な証言をまとめた本ができました。質疑応答や出席者の感想も収録しています。教科書ではふられないことのない歴史の事実をぜひお読み下さい。

御希望の方は指紋と人権を考える会か 京都カトリック教理センターまで

### 祈りの家

#### 「ヨゼフホール」のご案内

静かな環境で自分と神とのかわりを深めたい方、とにかく一人になって自分を見つめたい方、祈りの一時・静修の一日を過したい方はいつでもご自由に祈りの家「ヨゼフホール」をご利用下さい。

(昼食を希望の方)、三日前に連絡

▼問い合わせ ウィチタ聖ヨゼフ本部修道院

TEL 075(462)0754

市バス99番宇多野・山越行(三条京阪発)

意安寺前下車徒歩一分



「パイプのつまり」、時報でも何度か紙面でお目見えした。「何のことが分らない」という方がたくさんあると思う。もうすでに、ここでつまっています。パイプからけむりがでない。水道から水がでない。編集部も分からない言葉載せて反省。読者のみなさんは?(い)